



各 位

2020年3月17日

会社名 パレモ・ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 吉田 馨
 (コード番号：2778 東証・名証第2部)
 問合せ先 専務取締役管理担当 永井隆司
 TEL (052)581-6800

2020年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2019年3月29日付の「2019年2月期 決算短信 [日本基準]連結)」において公表しました2020年2月期(2019年2月21日～2020年2月20日)通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2020年2月期通期 連結業績予想数値の修正(2019年2月21日～2020年2月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	24,700	750	760	600	49 83
今回修正予想 (B)	24,084	504	494	350	29 09
増減額 (B-A)	△616	△246	△266	△250	—
増減率 (%)	△2.5	△32.8	△35.0	△41.7	—
(ご参考) 前期実績 (2019年2月期)	23,268	700	712	553	45 96

修正の理由

売上高におきましては、上半期は比較的順調に推移したものの、下半期は台風や集中豪雨等の自然災害や例年のない暖冬と消費税の増税等の外部要因のマイナス影響に加え、市場のニーズを捉えた商品の提供ができなかったことから既存店売上高前年比が下半期95.1%と苦戦し年間通期でも97.0%にとどまりました。その結果、売上高は前回予想を616百万円下回る見通しであります。

利益面におきましては、不採算店閉店等の経費削減の取り組みによる営業費の低減も進めましたが、売上高の減少と冬物処分による売価修正ロスの増加により、下半期の売上総利益率は前年に比べ1.4%悪化したことが影響し、営業利益・経常利益・当期純利益は上記要因により、それぞれ前回発表数値を下回る見通しであります。

なお、今回の業績修正に伴う配当予想の変更はございません。

※上記の予想数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上